

港南造形タイムズ

第63号

創立30周年記念特集 I

— 記念式典 — (於：八尾市文化会館プリズムホール)



オープニングは、シンガーソングライターの大山藍さん(港南19期)による校歌独唱でした。

教頭先生による開式の辞により、式典が挙行了されました。ご祝辞は、多くのご来賓代表として高橋住之江区長からいただきました。住之江区のマスコット、さざびーちゃんもお祝いにつけてくれて、厳粛な式典のなかに和やかさを醸し出してくれました。



大山藍さん



開式の辞



校長式辞



高橋区長ご祝辞

卒業生がお世話になっている多くの大学からもご臨席をいただき有難うございました。また、記念展(10月12日~24日:本校内で開催)の際にも、お花や祝電をいただきました。

❖ 後期生徒会長の釜谷さんの「よろこびの言葉」は私たちの心にひびく素敵なメッセージでした。



ご来賓の皆様



ご来賓の皆様



受付風景



生徒代表よろこびの言葉



記念品の贈呈



生徒全員校歌斉唱



舞台の上も校歌斉唱



竹内実行委員長の謝辞

— 対談会 — 「港南高校から美の世界に生きる人たちに学ぶ」

港南高校を卒業されて美の世界でご活躍中の先輩方に、美の世界に生きる喜びや厳しさをお話していただくことは、港南造形高校に学ぶ生徒たちにとっては何よりの30周年記念プレゼントになったのではないのでしょうか。

【出演者】

栗田ロビンさん（港南7期）



栗田さんは現在、京都造形芸術大学の准教授として、そしてパペットアニメーションの作家としてご活躍中です。栗田さんの作品「緑玉紳士」は、記念展でも紹介されました。「1日かけて10～15秒の作品を作っています」と話され、聞いていた生徒たちにどよめきが起こりました。

中村譲司さん（港南13期）



中村さんは陶芸家としてご活躍中です。対談会でもお話しされていましたが、年に6回位の個展を開催されるという精力的な作家活動をされています。質問コーナーでは、中村さんの作品価格への質問。気軽に答えていただきました。プリズムホールにも展示されました。

大山藍さん（港南19期）



大山さんはシンガーソングライターとして、関西でご活躍中です。TV大阪で放映中の「やすともどこいこ!？」のエンディング曲は大山さんによるものです。曲ばかりではなく、自分で描かれた作品をバックに歌っておられるそうです。そのCDも、現在発売中です。

【パネラー】

山崎功典さん（蒼風会会長）



今回、この対談会を企画して、パネラーの大役を引受けてくださったのが蒼風会（同窓会）会長の山崎さんです。山崎さんは立体彫刻が専門ですが、府立北摂つばさ高校の美術の先生として高校展や芸文祭にも携わっておられます。港南造形高校生の良き先輩としてご指導をお願いします。



対談会風景



突然の恩師登場



質問コーナー



花束贈呈

- ❁ 先輩たち、本当に有難うございました。最後に設けていただいた質問コーナーでは、15名位の生徒たちがなかなか訊けないようなことも質問していましたが、快くお答えいただき有難うございました。予定の時間を延長していただき、大いに盛り上がった、記憶に残る対談会になりました。また、先輩たちの紹介VTRの制作に際し、放送芸術学院専門学校のご協力をいただきました。併せて感謝の言葉をお送りしたいと思います。